

僕らの原点

■広島東洋カープ松山竜平選手と阪神タイガース榎田大樹選手が大崎ソフトボールスポーツ少年団練習始め式に参加



■阪神タイガース

榎田大樹選手



■広島東洋カープ

松山竜平選手



平成23年1月3日(月)、大崎ソフトボールスポーツ少年団の練習始め式が研修センターグラウンドで行なわれました。

練習始め式には、同少年団OBの広島東洋カープの松山竜平選手と今期、阪神タイガースに入団が決まった、榎田大樹選手が駆けつけました。団員・OB・育成会員など全員で陣を組む、主将の下井倉徹哉君の音頭で新年の『三本締め』を行いました。

OBを代表して松山選手と榎田選手が新年の豊富を語りました。

松山選手は、「大樹との対戦が楽しみ。一軍に上がって大崎町を盛り上げて行きたい。」と意気込みを語りました。

榎田選手は、「開幕ローテーション入りを目指したい。少年団の皆さん、ソフトや野球だけでなく、勉強も頑張りましょう」と後輩にエールを送りました。

恒例のホームラン競争では、松山選手が豪快なスイングでホームランを連発、その後2人で団員にノックを行いました。

2人は、同少年団が初めて全国大会で優勝した際のチームメイト。(当時松山選手6年榎田選手5年)

久しぶりの再会に、土にまみれた少年団時代を懐かしんでいました。

また、この年は、OBの福留孝介選手(シカゴカブス)が、アトランタオリンピックに出場した年で、壮行会に少年団員として参加し、プロ野球選手への夢を思い描いたときでもありました。

今日、迎えてくれた子ども達を当時の昔の自分に重ねたのではないのでしょうか。

「ここは、僕らの原点。」と声を揃える2人は、活躍してまたこのグラウンドに帰ってくることを誓いました。



福留選手

松山選手

榎田選手



▲グラウンドの片隅に残る記念碑は、全国制覇を記念して建てられたものです。